



陽だまり

大分市議会議員 松下清高 活動報告
第51号 2021年10月10日発行

連絡先

大分市議会社会民主クラブ
大分市荷揚町2番31号
TEL 097-537-9220

高崎事務所

〒870-0872 大分市高崎2丁目24番8号
TEL 097-545-3438

まつきよコラム

さる8月24日、監査委員として他の監査委員の皆さんと、2020年度一般会計及び特別会計等の決算審査意見書を佐藤市長に提出しました。今任期から、議会選出の監査委員の一人としての任務がスタートし、地方自治法等に基づき、各部局所管の財務や行政等に関する監査、検査業務に当たってきました。

今回の決算審査意見書は、2020年度大分市一般会計歳入歳出決算及び大分市国民健康保険特別会計など9つの特別会計歳入歳出決算並びに大分市水道事業会計と公共下水道事業会計等について、法令に適合し、かつ正確であるかなどの審査を行った結果、いずれも適正に執行されていると認定し、その概要と意見を付して市長に提出したものです。

2020年度決算の特徴は、一般会計の歳入、歳出ともに対前年比で21.5%増、金額では約590億円近く増加したこと、市税などの自主財源比率が50%を切り、38.9%となったことです。これらの主な要因は、新型コロナウイルス感染拡大による家計や事業経営に大きな影響を受けた国民に対し、緊急経済対策として「特別定額給付金」等が支給され、その財源として約480億円が国から交付されたことなどによるものです。

一般会計、特別会計ともに、全体として大分市の財政運営は健全な状態にあると言えますが、財政基盤の強弱を示す財政力指数の低下や財政構造の弾力性を示す経常収支比率が年々上昇し、硬直化が進んでいるのは気になるところです。

また、①収入未済額の解消、②不能欠損処分には慎重かつ厳正に取り扱うこと、③基金の適切な運用と中長期的な視点での財政運営に努めること、④市民の安全・安心の確保に努めること、⑤新型コロナウイルス感染症対策を講じること、などの監査委員意見を付しました。

少子高齢化の影響は大分市の歳入、歳出全般に大きな影響を及ぼし、また、新型コロナや災害対策など、これまで以上に歳出圧力が高まる可能性があるため、議員、議会としての監視、チェック機能を強化するとともに、監査委員としてもしっかりと監査、検査業務に当たっていきたいと思います。



▲意見書提出

第3回定例会市議会の報告

今年度の第3回定例会が、9月1日から27日まで開催されました。今議会には、新型コロナウイルス感染症対策関連等の補正予算案の外、市立幼稚園条例の一部改正などの一般議案や人事議案など計69件が提案され、一部反対意見がありましたが、すべて承認されました。主な議案の審議結果等については、別掲の「絆」をご覧ください。また、決算特別委員会が設置されましたが、私は監査委員となっているため、委員にはなれず、分科会審査では傍聴となりました。

【厚生常任委員会】

1日目は福祉保健部所管で、新型コロナウイルス感染症関連の補正予算案として、大分駅北口に設置している抗原検査センターを来年3月まで延長するための「新型コロナウイルス検査体制強化事業」及び医療機関が行うPCR検査及び抗原検査委託料の追加としての「PCR検査等補助事業」等について審査を行い、いずれも件数が増加し、無症状などの陽性者発見など、一定の効果をあげていることから承認しました。

ただ私からは、以前も指摘している検査の有効

性は全国の模範になるものであり、財源については国や県から措置出来るよう努力することを要望しました。

また一般議案では、本市には該当施設はありませんが、いざという時の為「大分市救護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例」の一部改正などでしたが、異議なく承認しました。

続いて、新型コロナの感染状況やワクチン接種についての報告があり、ワクチン接種 2 回目終了者は報告時点では、全世代で 36.4%。高齢者は 86.7%となっています。また、職域接種についても承認された 15 事業所で始まっており、さらに第 5 波で陽性者の多数を占めている若い世代についても接種が始まったことから、重症化や感染リスクの軽減が期待されるそうです。

2 日目は、子どもすこやか部所管の審査を行いました。同部では補正予算はなく、市立植田幼稚園を令和 4 年 4 月に廃園しようとする「大分市立幼稚園条例の一部改正」案等の一般議案 2 件についてでしたが、一部反対意見があったものの原案どおり承認されました。

報告事項では、大分市児童虐待防止対策強化のための基本計画策定に関することや病児保育事業の広域化・ICT 化についてでした。虐待防止に関しては、県中央児相との役割分担等や設置の手順、設置場所などについての議論を行ったとのことで、私からは「当初の段階から一時保護所の設置についても議論すべき」と指摘しました。

また、病児保育広域化等については、大分市を含む県下 8 市で、病児を受け入れるようにするものです。現在も大分市から他市へ勤務する保護者もいることから、子育て環境の充実と安心につながるものですが、今後の利用拡大に向け周知の徹底なども必要です。

ところで、9 月議会に先立つ 8 月 15 日、東京パラリンピックの開催に向けて採火式が行われ、常任委員として参加しました。県下各市町村で採火したものを県で一つの聖火とし、パラリンピックの開会式のときに聖火台に灯したのです。



▶ 採火式

【総合交通対策特別委員会】

本特別委員会では、「中心市街地循環バス」のルート変更や「第 11 次大分市交通安全計画」の策定などについての報告がありました。「中心市

街通循環バス」は、大分市美術館と大分駅を起終点として、2017 年度から本格的な運行を始めていましたが、「大友氏館跡庭園」の一般公開が始まったことなどから、運行ルートを変更することにしたものです。

観光施設等を組み込むことで、観光客の誘客及び周辺住民の利便性向上を図ることを目的としたものですが、私からは県立美術館や OASIS 広場が一部外れることについての懸念を指摘し、今後の利用の推移を見守ることとしました。

また、特別委員会としての機能強化を図るため、今任期から重点的に調査・研究するテーマを選定することとし、①交通弱者の移手段の確保についてと②公共交通の利便性の向上について、③交通ネットワークの強化についての 3 点としました。

今後、現状の課題や実態を把握しながら、調査研究を行い、提言案等をまとめていくこととしています。これまで以上に特別委員会としての協議を重ね、実効性のある提言案にまとめていきたいと思っています。

【政策研究会活動】

前号で、議会提案条例策定のための推進チームが編成され、その副座長に就任したことを報告しました。これまで 6 回の会議を開き、大分市の若者を対象とした施策や事業内容の把握、「(仮称)若者参画条例」制定のための現状や課題、必要性などについての議論を行ってきました。

現状や課題、必要性等については、私が政策課題として提案した中でも述べていますが、少子高齢化の進展などによる社会の担い手の減少や若者が行政や政治に意見を言える機会が少ないことなどから、若者が自らの意見を言える仕組みづくりを目指し、その意見が施策等に反映するという体験を通して、さらなる参画を図るための大分市としての施策や姿勢を明確にしようとするものです。

とは言え、全国的に見ても若者の参画を条例化した自治体は少なく、執行部の共通認識や理解を得ながら条例の必要性と条例の実効性をいかに担保していくかなど、ハードルは高く厳しいものがあるものと認識しています。今後、当事者である若者や関係者、支援者など多くの方達との意見交換、情報交換を行う中で、地域や社会、市民全体に訴えながら、条例の策定作業を進めていきたいと思っています。

《市民相談》をお受けします

行政に関することなど何でも結構です。

ご相談は「松下清高」まで

連絡先：電話 545-3438

Email:kiyo-hidamari@amail.plala.or.jp

市議会通信 55号

2021年9月議会報告

絆

きずな

発行元・大分市議会社会民主クラブ
住所・大分市荷揚町2番31号

9月議会

9月1日～27日まで議会が開かれました。

今回も、コロナ感染症関連の補正予算などが主な議案でした。また、今議会は、前年度予算の決算を審査する議会でもありました。



9月議会

補正予算

◎新型コロナウイルス検査体制強化事業・・・2億5600万円

大分駅前抗原検査センターの設置を来年3月末まで延長します。

◎PCR検査等補助事業・・・1億8400万円

各医療機関が行うPCR検査及び抗原検査の委託料の追加計上です。

◎感染予防対策施設改修支援事業費補助金・・・1億6千万円

中小企業者が飛沫防止などの改修を行う事に補助をします。

(上限は1事業所10万円、1業者30万円、補助率4/5)

◎感染防護資機材の整備及び感染廃棄物処理に係る経費 ・・・1700万円

救急搬送する場合の感染防止衣などの整備と廃棄処理に必要な費用です。

◎佐野清掃センター維持管理費・・・1億700万円

ゴミ処理に使用するコークスが高騰したため、購入費の追加計上です。

◎(仮称)大分市マイナンバーカードセンター設置運営事業・・・9670万円

マイナンバーカードの発行事務をするセンターを、中央通りの「大分オーパ」の2階に開設します。

◎大分・ポルトガル友好交流事業・・・1200万円

ふるさと納税を活用し大友宗麟時代の少年使節団や南蛮文化に関する講演会やコンサートの開催、エヴォラ大聖堂のパイプオルガンの修復、などを行います。

◎企業立地促進助成金・・・7億2730万円

企業の新たな設備投資などで雇用を増やします。(今回は282名の雇用増)



(本年4月29日より開始)
大分駅前の抗原検査センター

一般議案

◎大分市過疎地域持続的発展計画の策定と市税条例の一部改正

今年4月に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行され、その法に基づき本市の計画を策定します。またその「計画」の中で、産業振興促進事項に定める業種が、取得した事業用資産に係る固定資産税を3年間免除します。(地域は佐賀関、野津原。詳細は担当課の大分市税制課へ連絡下さい。)

◎**低速電動バスの購入（3179万円）**

大南地区を運行予定の低速電動バスを購入します。

◎**市立幼稚園条例の一部改正**

基準に基づき市立植田幼稚園を来年度に廃園とします。

◎**市情報学習センター条例の廃止**

外部行政評価委員会から事業の見直しを提言されていた情報学習センターを廃止し、今後は地区公民館などでの講座等、市民が参加しやすい形へと移行します。

◎**大南地区スポーツ施設用地の買収（全面積9haの内、今回は2.8ha買収）**

下判田に整備予定のスポーツ施設（野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、多目的広場等）の用地を買収します。



現在の情報学習センター

2020年度の決算を審査

正副議長と監査委員の議員4名を除く40名で前年度決算の審査を行いました。馬見塚剛議員が決算特別委員会の副委員長になりました。

2020年度決算は、一般会計と特別会計合わせた総計は歳入3378億円、歳出が3319億円で2019年度より歳出で582億円もの増である。これはコロナ関連予算で国庫支出金が増えたことによる。一般会計は、歳入が2422億円、歳出2385億円で、形式収支は37億円の黒字である。しかし、市税収入が9億円ほど減で、国庫支出金の増にもよるが自主財源の割合が39%と落ち込んでいる。財政指標を見ると、1に近いのが良いとされる財政力指数は、0.902で前年度より0.002低下、80%以下が望ましい経常収支比率は95.8%で前年度より上昇し、硬直化している。借金である市債残は1682億円で1億4千万円減らし、貯金である主要3基金残は165億円で38億7千万円の減である。市税等の自主財源の減や義務的経費などの経常収支比率が高く基金の減など懸念材料があるが、市債の減など健全化の努力は見られる。

事務事業評価の結果	
事業名	評価
別府アルゲリッチ音楽祭	継続
ときめき出会いサポート事業	拡充
自主防災組織活動支援事業	継続
障がい児通所支援事業	拡充
ひとり暮らし高齢者愛の訪問事業	拡充
放課後児童支援コーディネーター事業	拡充
日本語指導等支援事業	拡充
スクールサポートスタッフ配置事業	拡充
運動部活動総合活性化事業	継続
道路舗装事業（市単独）	拡充
未就学児等交通安全対策事業	継続
ふれあい交通運行事業	継続
移住者就労促進事業	継続
都市・農村交流活動支援事業	継続
おおいた物産・食・観光魅力発信事業	継続

意見書

次の意見書が採択されました。

◎**コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書**

コロナ禍で厳しい地方財政に対処する財源確保と税制改正を求めるものです。

（我が会派から提出したが不採択になったもの）

◎**国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見**

中等症患者の入院加療を原則で臨時の医療施設設置と自宅療養への医療体制整備を求めるものです。

請願

〈立憲民主クラブと共同提出し（甲斐市議が紹介議員）、継続〉

◎**伊方原発3号機の再稼働に反対する議会決議を求める請願**